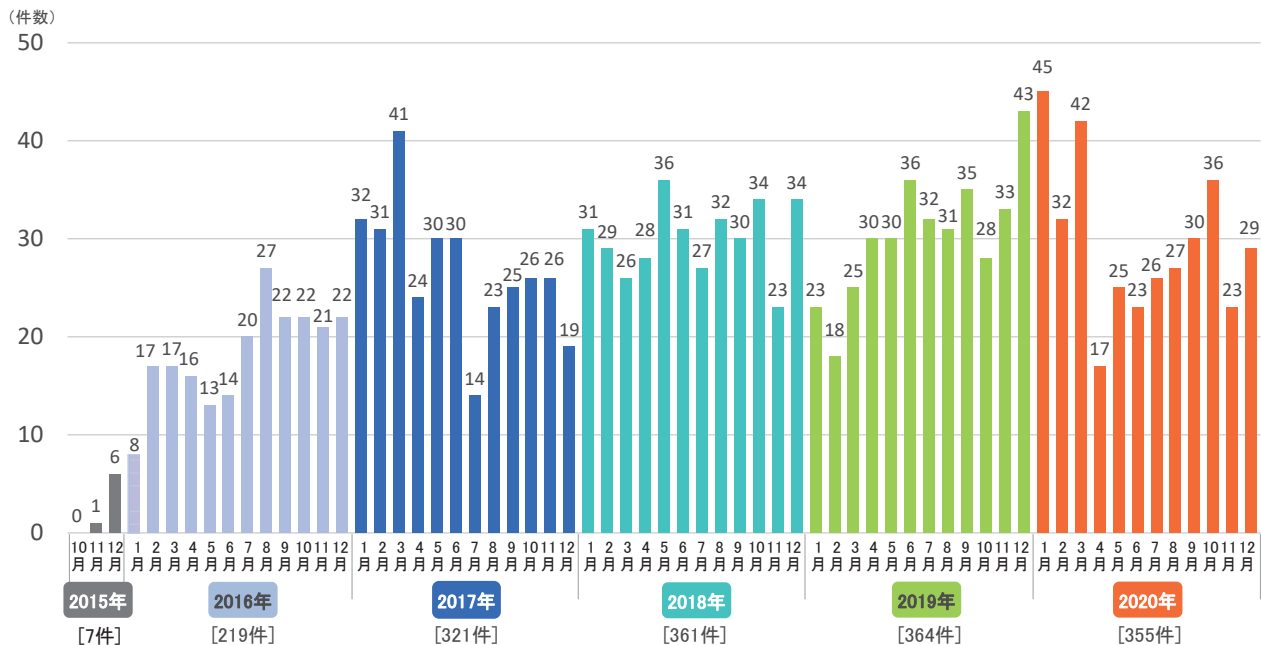


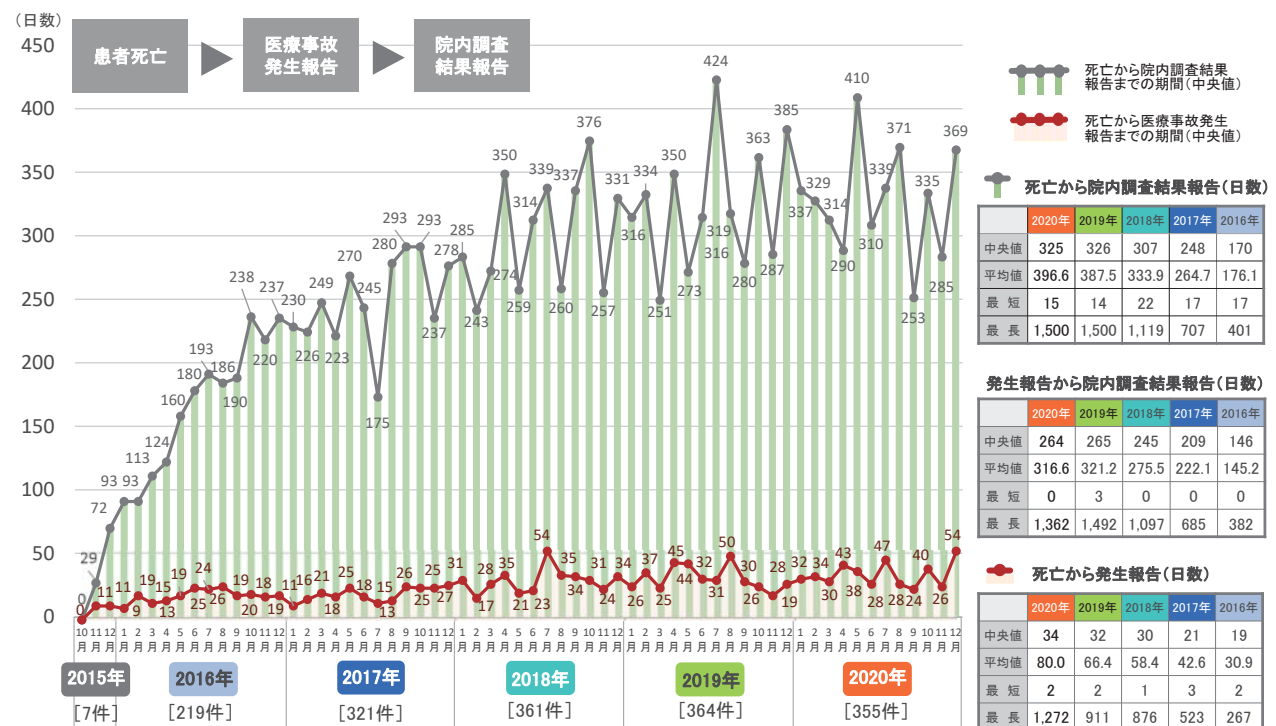
# 院内調査結果報告の状況

## 17. 院内調査結果報告件数の推移（数値版 3-(1)-①参照）



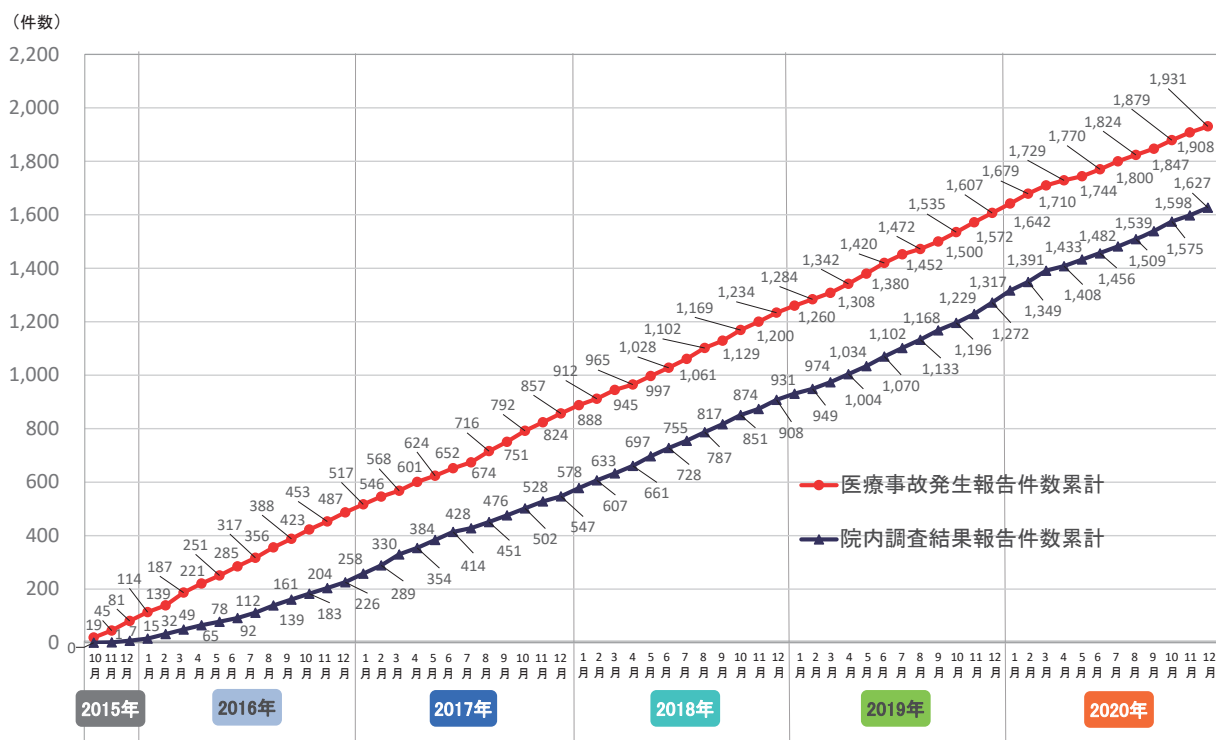
## 18. 患者死亡から医療事故発生報告および院内調査結果報告までの期間（月別）

（数値版 参考3-(1)-④-i,ii参照）



## 19. 医療事故発生報告件数および院内調査結果報告件数累計の推移

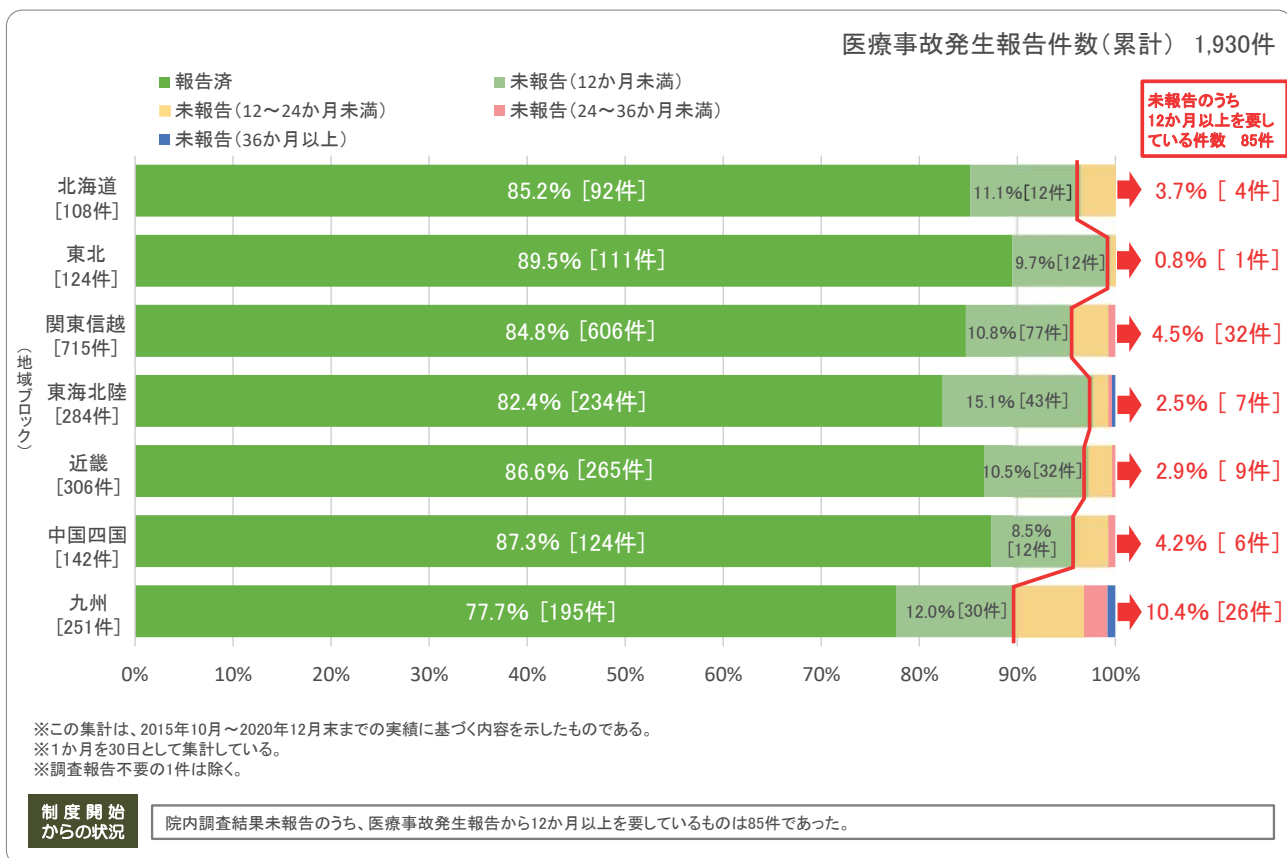
(数値版 2-(1)-①・3-(1)-①参照)



制度開始  
からの状況

医療事故発生報告件数の累計と院内調査報告件数の累計は、ほぼ比例しながら推移している。

## 20. 地域ブロック別院内調査結果報告の状況 (数値版 参考3-(1)-③参照)



## 21. 医療事故発生報告から12か月以上調査している(未報告)理由 (数値版 参考3-(1)-③参照)

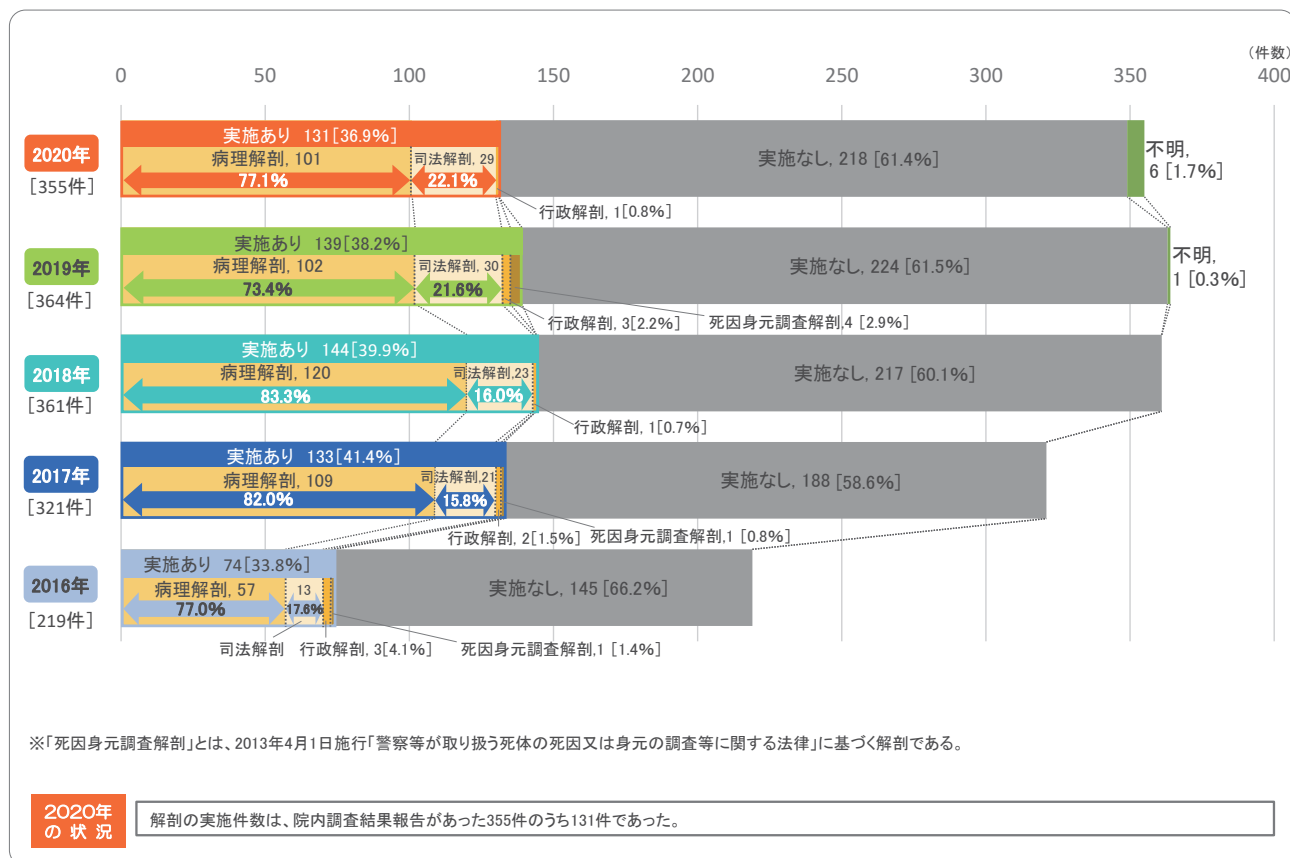
院内調査結果未報告件数 85件 (重複計上)

理 由		件 数
制 度	制度の理解不足 (調査が必要であることや調査後にセンターへ報告することを知らなかった等)	2
調 査	解剖結果が出るまでに時間を要している	7
	外部委員の派遣までに時間を要している	6
	委員会開催のための日程調整に時間を要している	25
	調査検討に時間を要している(委員会を複数開催した等)	10
	報告書の作成に時間を要している	22
	他の業務があり時間を要している(マンパワー不足)	2
説 明	遺族への調査結果の説明やその後の対応に時間を要している	18
その他	上記以外の理由で時間を要している (担当者交代等)	3
特に要因はない		10
合 計		105

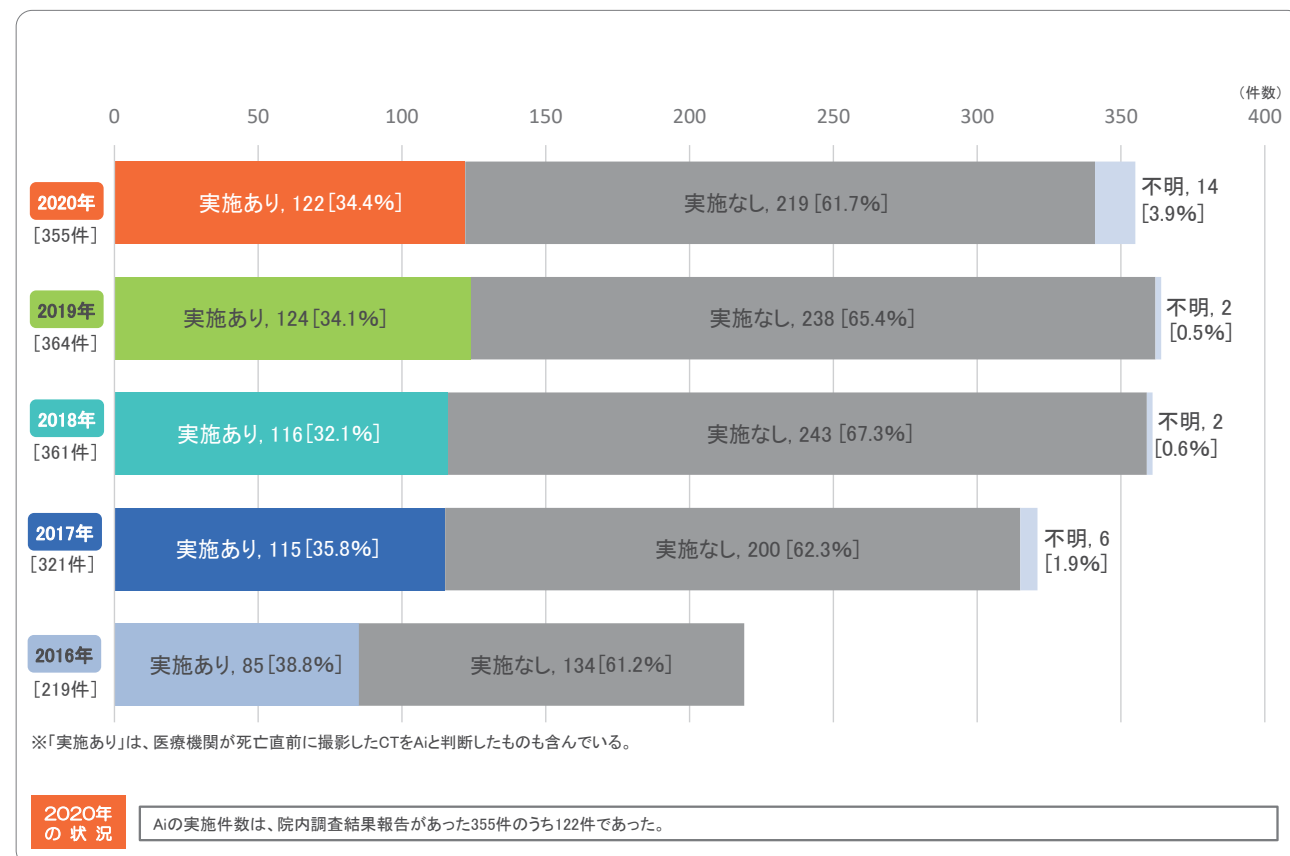
※2020年12月末時点において、院内調査結果未報告のうち12か月以上を要している85件について集計している。  
 ※この集計は、医療機関への照会に基づきセンターが集計したものである。

制度開始からの状況 理由として最も多かったのは「委員会開催のための日程調整に時間を要している」25件で、次いで多かったのは「報告書の作成に時間を要している」22件であった。

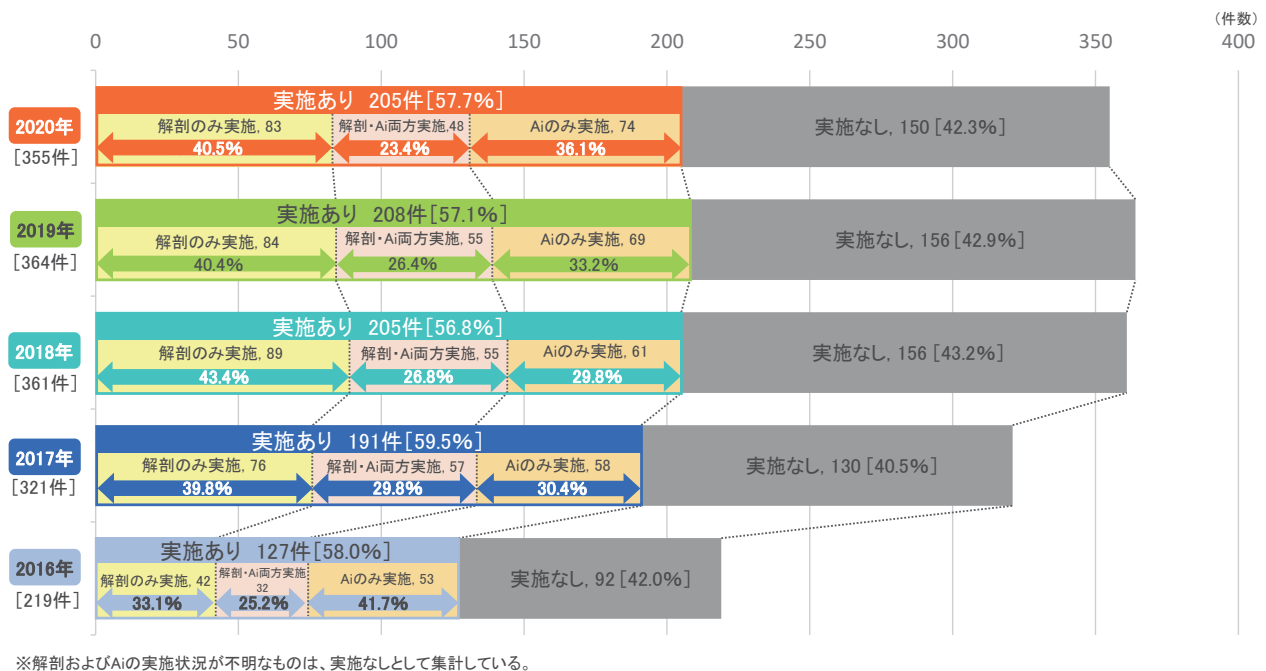
## 22. 解剖の実施状況（数値版 3-(2)-①参照）



## 23. 死亡時画像診断(Ai)の実施状況（数値版 3-(2)-②参照）



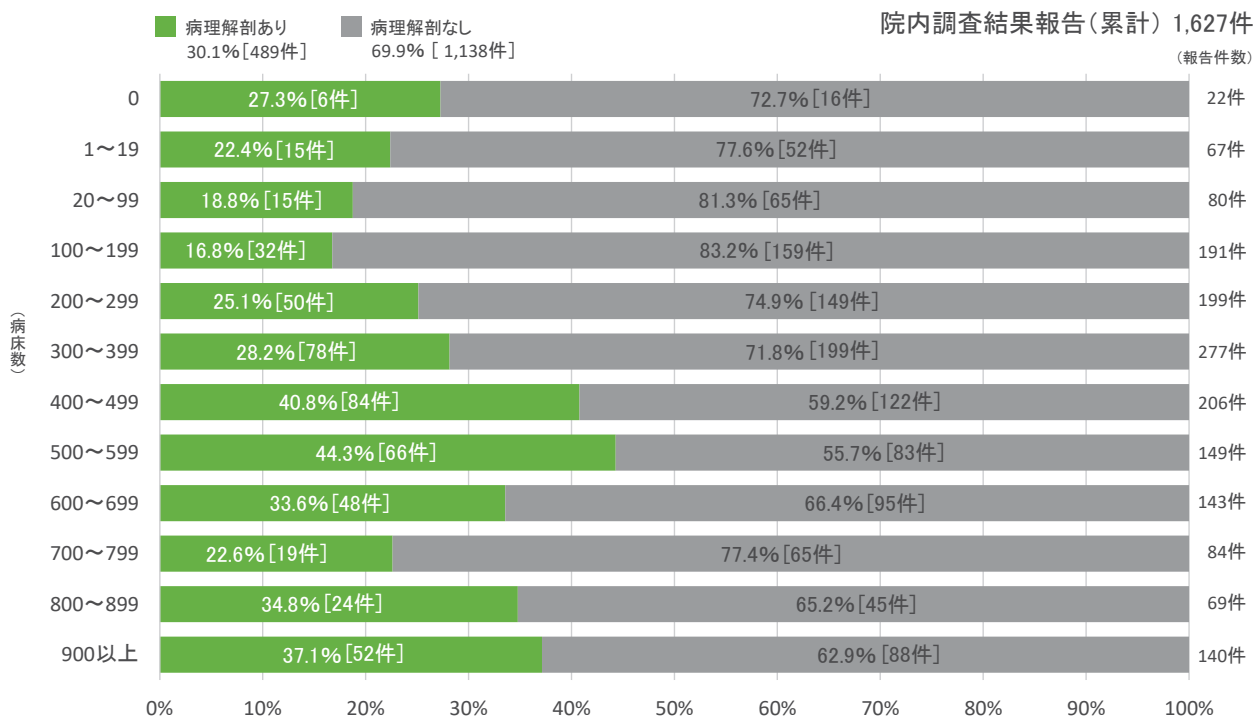
## 24. 解剖とAiの実施状況の内訳（数値版 3-(2)-③参照）



2020年の状況

院内調査結果報告があった355件のうち、解剖またはAi、およびその両方が実施された件数は205件であった。

## 25. 病理解剖の病床規模別割合（数値版 参考3-(2)-①参照）

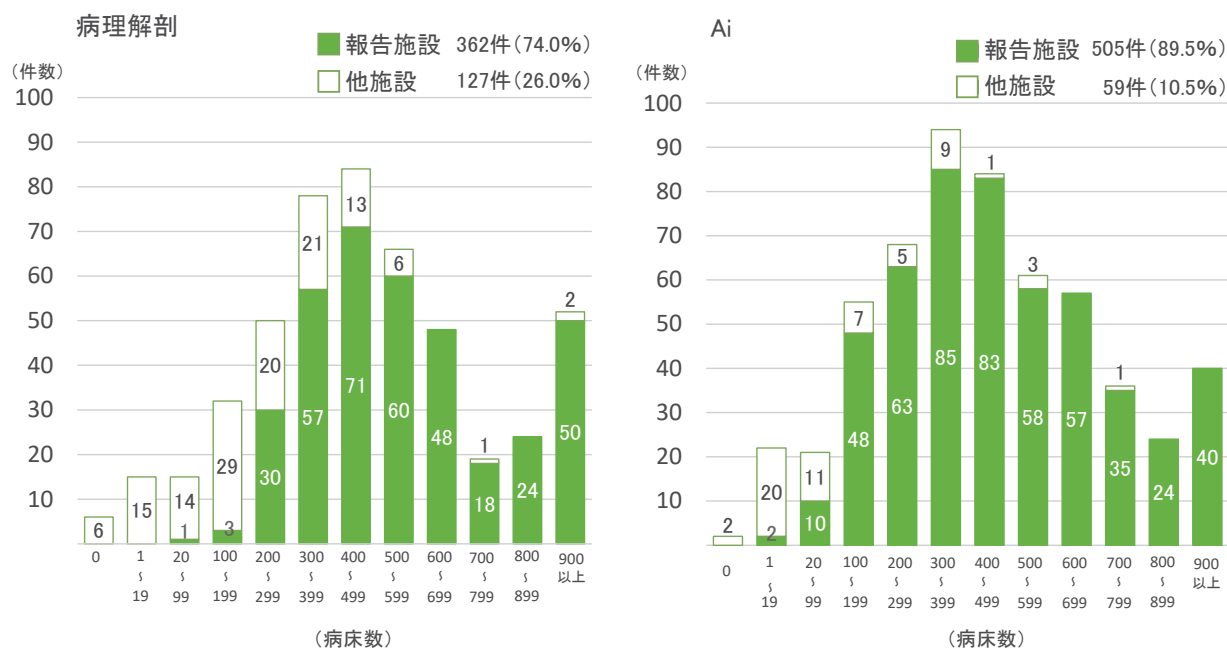


※病理解剖ありは、「病理解剖」実施件数のみを算出しており、「司法解剖」、「行政解剖」、「死因身元調査解剖」は病理解剖なしに含まれる。

制度開始からの状況

病床規模別にみた病理解剖実施の割合は、「500～599床」が最も高く、44.3%であった。制度開始からの累計は「病理解剖あり」が30.1%（489件）で、「病理解剖なし」は69.9%（1,138件）であった。

## 26. 病床規模別病理解剖およびAiの実施件数（数値版 参考3-(2)-①・参考3-(2)-②参照）



※病理解剖が実施されたものについて集計している。

※Aiが実施されたものについて集計している。

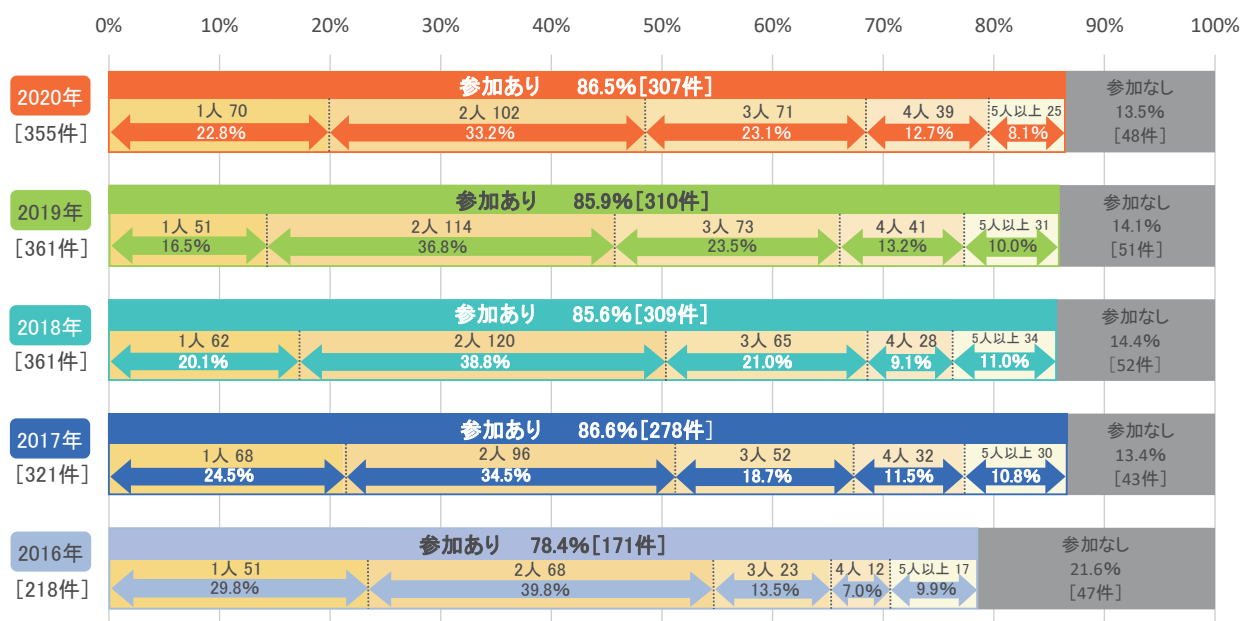
### 制度開始からの状況

病理解剖の実施は489件で、最も多かったのは「400～499床」の84件であった。199床以下の施設では、他施設での解剖実施が多かった。

### 制度開始からの状況

Aiの実施は564件で、最も多かったのは「300～399床」の94件であった。全体の89.5%が報告施設で実施していた。

## 27. 院内調査委員会における外部委員の参加状況（数値版 3-(3)-④参照）

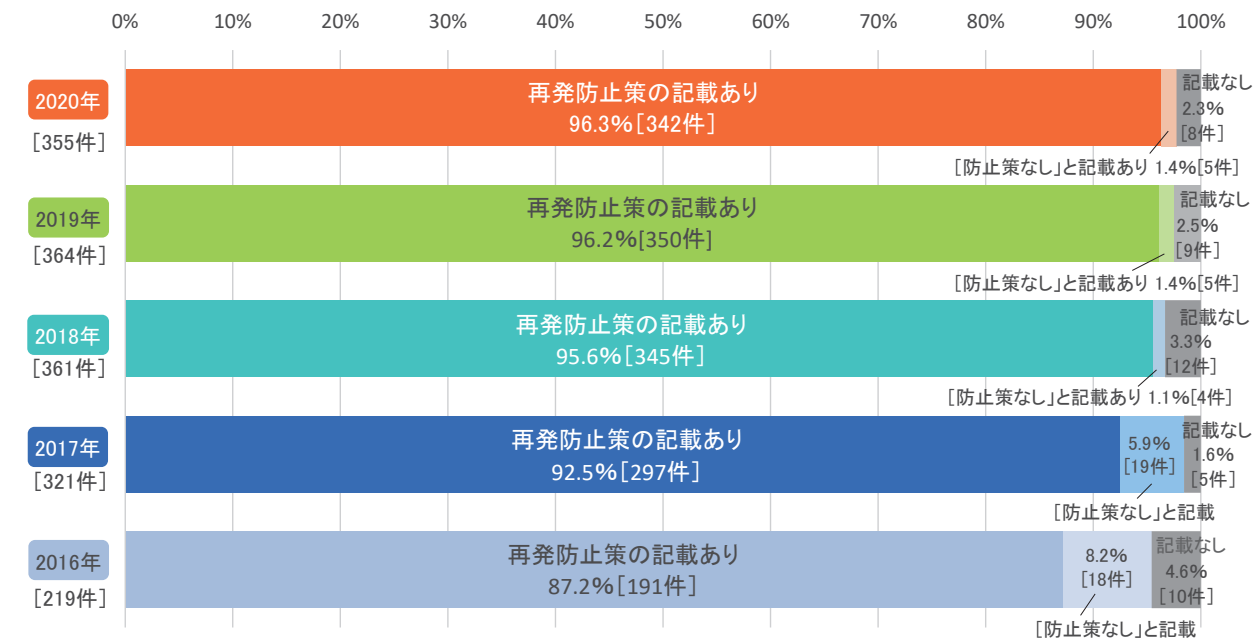


※委員会の設置がなかったものを除いて集計している。

### 2020年の状況

院内調査委員会の開催があった355件のうち、外部委員の参加があったのは307件（86.5%）であった。そのうち参加人数は「2人」が33.2%と最も高く、次いで「3人」が23.1%であった。

## 28. 再発防止策の記載状況（数値版 3-(4)-①参照）

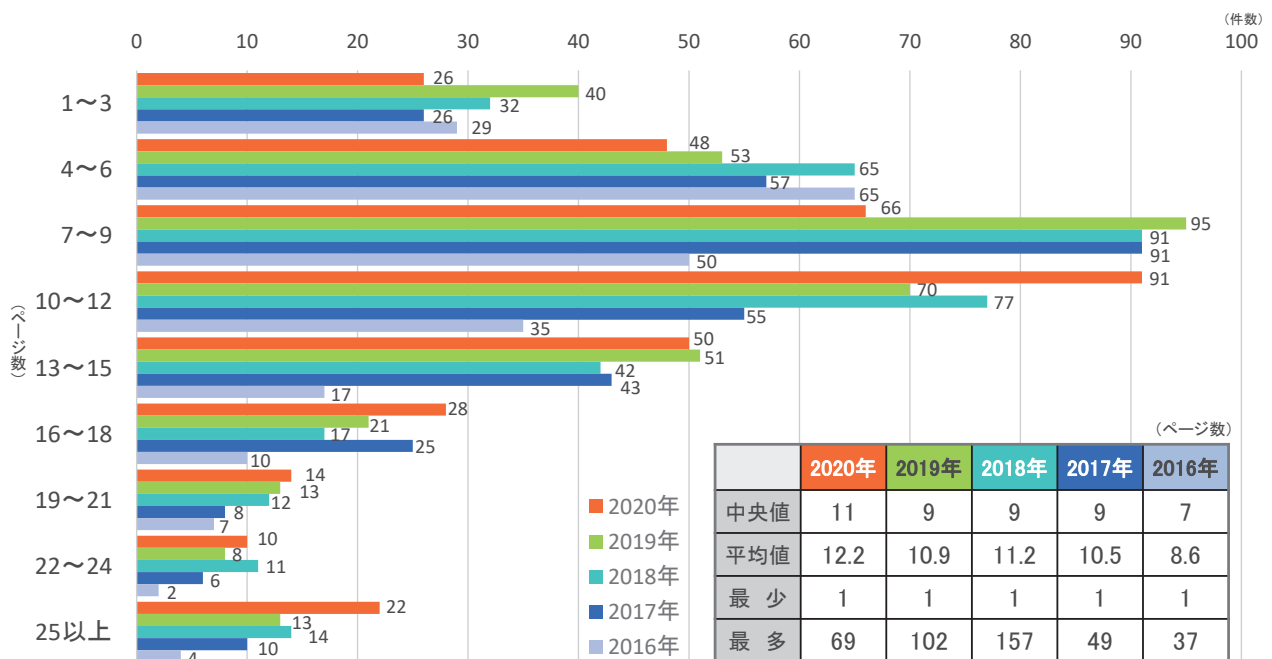


※「記載なし」とは、院内調査結果報告書に再発防止策の記載がなかったものである。

## 2020年の状況

院内調査結果報告があった355件のうち、再発防止策の記載があった事例は342件であり全体の96.3%であった。

## 29. 院内調査結果報告書のページ数（数値版 3-(6)-①参照）



※院内調査結果報告書の表紙、目次、添付資料などを除いたページ数をセンターが集計したものである。

## 2020年の状況

院内調査結果報告書のページ数は「10～12ページ」が最も多く91件であった。中央値は「11ページ」、平均値は「12.2ページ」であった。

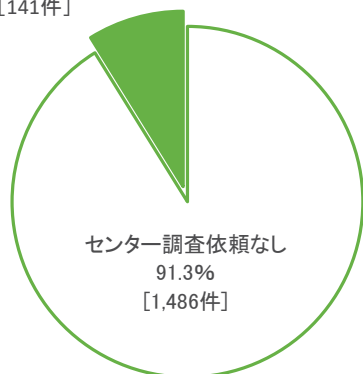
# センター調査の状況

## 30. センター調査対象件数と依頼者の内訳（数値版 4-(1)-①・②参照）

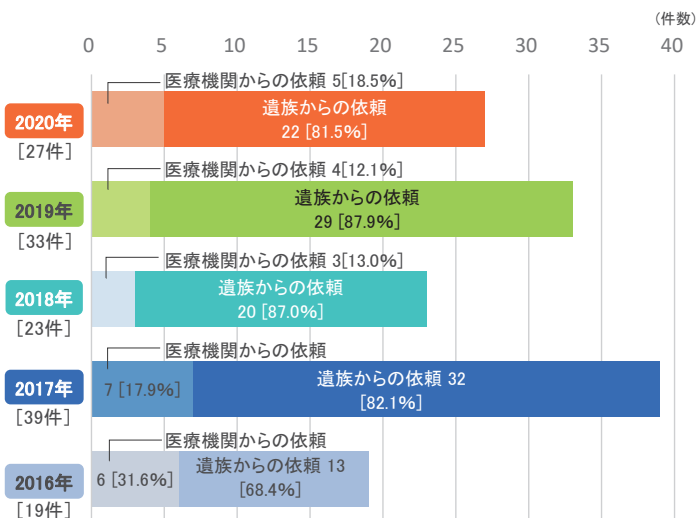
### 1 センター調査対象件数

院内調査結果報告件数（累計） 1,627件

センター調査対象件数  
8.7%  
[141件]



### 2 依頼者の内訳



※2015年10月～12月はセンター調査の依頼は0件であった。

2020年の状況

院内調査結果報告件数の累計は1,627件であり、センター調査対象となった事例は8.7%（141件）であった。センター調査の依頼は27件であり、依頼者の内訳は、「医療機関からの依頼」が5件、「遺族からの依頼」が22件であった。

## 31. センター調査の依頼理由（数値版 4-(1)-③参照）

センター調査対象件数（累計） 141件

（件数/重複計上）

依頼者	依頼理由	2020年	2019年	2018年	2017年	2016年	累計
医療機関	死因が明らかでない	4	3	1	3	3	14
	院内調査結果の検証をしてほしい	4	3	2	6	4	19
	件数	8	6	3	9	7	33
遺族	院内調査結果に納得できない						
	臨床経過	20	17	14	15	2	68
	死因	21	20	16	18	7	82
	治療	22	26	17	20	10	95
	説明と同意	9	9	10	8	3	39
	再発防止策	11	16	8	8	4	47
	委員会構成	3	1	2	3	3	12
	小計	86	89	67	72	29	343
	院内調査が進まない	0	1	0	1	2	4
	院内調査では信用できない	0	0	4	1	1	6
	件数	86	90	71	74	32	353
合計		94	96	74	83	39	386

※依頼理由は、センター調査依頼時の情報に基づき、センターが分類、集計したものである。

2020年の状況

遺族がセンター調査を依頼する理由で、最も多かったのは「院内調査結果に納得できない」86件であった。